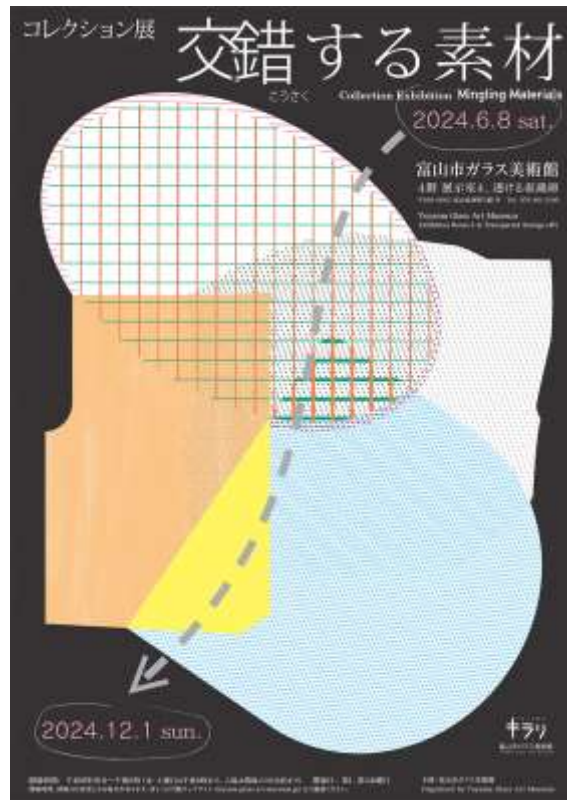


コレクション展

こうさく

交錯する素材



展覧会名	コレクション展 <small>こうさく</small> 交錯する素材
会期	2024年6月8日(土)～2024年12月1日(日)
会場	富山市ガラス美術館4階 展示室4、透ける収蔵庫
主催	富山市ガラス美術館
開場時間	9:30～18:00 (金・土曜日は20:00まで、入場は閉場の30分前まで)
閉場日	第1・3水曜日
観覧料	一般、大学生200円(170円)、高校生以下は無料 ※()内は20名以上の団体料金 ※本展観覧券でグラス・アート・ガーデン(6F)もご覧いただけます。 ※企画展の観覧券をお持ちの方は、本展およびグラス・アート・ガーデン(6F)もご覧いただけます

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

展覧会について

「アーティストはこれから先、ガラスだけをあつかうということはなくなるのではないかと思います。ほかの素材や違った技術に関心をもつようになるでしょう。つまり厳密にガラス作家と定義される人たちはいなくなってもおかしくない。ガラスも使うけれど、ほかの素材も使うのが当たり前になると思います。」*

これはチェコの作家、ポフミール・エリアッシュが 1994 年のインタビューにおいて、ガラス芸術の将来について問われた際の発言です。ちょうど 30 年が経過した現在、ガラスと異素材を組み合わせることや、ガラス制作と並行して他の素材や手法での制作を行うことは、エリアッシュが予見したように「当たり前」となったと言っても過言ではないでしょう。今回のコレクション展では、ガラスと様々な素材や制作手段とが会うことから生まれる幅広い表現をご紹介します。

*「1994 年 9 月 30 日 ポフミール・エリアッシュ氏インタビュー 聞き手：武田厚」『拡張するガラス：美の表現者たち』展カタログ、152 頁、横浜美術館、朝日新聞社、1995 年

出品作家

ポフミール・エリアッシュ、小林千紗、菅澤利雄、岩田藤七、ヨセフ・マレク、ヤロミール・リパーク、田嶋悦子、神代良明、津守秀憲、塚田美登里、ウラジミール・コペツキー、ブライアン・ハースト、ブライアン・パイク、パーティル・ヴァリーン（展示導線順）

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

展示内容

1. 際立たせる

金属、陶、石、プラスチックなど、特性や質感が異なる素材とガラスとを組み合わせることで、それぞれの素材の特徴が互いに際立つこともあれば、一方の素材の特徴がより強調される場合もあります。ここでは、異なる素材同士の対比が表現の重要な要素となっている作品や、その素材らしさとは何か、ということに新たな発見をもたらしてくれるような作品をご紹介します。



1. ポフミール・エアアッシュ 《母性》2003年、
撮影：末正真礼生



2. 小林千紗 《しろの くの かたち 2021-1》2021年、
撮影：末正真礼生



3. 田嶋悦子 《Cornucopia 05-VII》2005年、撮影：斎城卓



4. ヨセフ・マレク 《The way out》1997年、撮影：末正真礼生

※全て富山市ガラス美術館蔵の記載をお願いします。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

2. 変化を起こす

ガラスを窯の中で高温に熱して造形するキルンワークは、ガラス制作の主要な方法の一つです。この制作過程において、ガラスと異なる素材とを共に加熱することで、形や表情に大きな変化を生じさせる作家達があります。ここでは、素材同士が互いに反応し合うことで生まれた変化をありありと留める作品を展示します。素材が持つ潜在的なエネルギーを感じるような表現にご注目ください。



5. 神代良明《Structural Blue 60.2》2021年、
撮影：末正真礼生



6. 津守秀憲《胎動 '17-4》2017年、撮影：末正真礼生、



7. 塚田美登里《光林 #2》2013年、撮影：岡村喜知郎

※全て富山市ガラス美術館蔵の記載をお願いします。

お問い合わせ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

3. イメージを重ねる

ここで紹介する作家たちは、素材や制作方法を複合的に組み合わせることで、複数のイメージが重なるような作品を制作しています。これにより、ガラスに対する一般的な認識を転換させたり、歴史、文化、さらには宇宙など広大な世界を構成する要素に思いを巡らせるような表現が展開されています。ぜひ様々なイメージの結びつきが暗示するものを読み解いていくように作品をご覧ください。



8. ウラジミール・コベツキー 《ストレンジ・テーブル》
1985-1988年、撮影：末正真礼生



9. ブライアン・ハースト 《聖なる器と陰影》2007年、
撮影：末正真礼生



10. パーティル・ヴァリーン 《振り子 III》1990年、撮影：斎城卓

※全て富山市ガラス美術館蔵の記載をお願いします。

お問い合わせ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

関連プログラム

ギャラリートーク

参加無料 申し込み不要

日 時：2024年6月30日（日）、7月28日（日）、8月24日（土）、9月14日（土）、10月20日（日）、
11月16日（土）

各回 14:00 より開催

会 場：富山市ガラス美術館

- 事前申し込みは不要です。
- 展示室への入場には、本展観覧券が必要です。
- 関連プログラムの詳細は、美術館ウェブサイトやSNSなどでお知らせします。
- プログラムは都合により中止、または変更となる場合があります。
- 最新の情報は美術館ウェブサイトにてご確認ください。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

美術館概要



11



12

富山市ガラス美術館は、「ガラスの街とやま」を目指したまちづくりの一環として、2015年8月に開館しました。本美術館は富山市立図書館本館などが入居する複合施設「TOYAMA キラリ」内に整備され、富山市の中心市街地に位置することから、文化芸術の拠点としてだけでなく、まちなかの新たな魅力創出の役割を担ってきました。

世界的な建築家の隈研吾氏が設計を手掛けた建物は、御影石、ガラス、アルミの異なる素材を組み合わせ、表情豊かな立山連峰を彷彿とさせる外観となっています。また、内部は富山県産材のルーバー（羽板）を活用した開放的な空間となっています。

常設展として、アメリカの現代ガラスの巨匠、デイル・チフリー氏によるインスタレーション作品を展示する6階「ガラス・アート・ガーデン」のほか、所蔵作品を紹介する4階「コレクション展」や2階から4階の展示室壁面などに富山ゆかりの作家が制作した作品を展示する「ガラス・アート・パサージュ」があります。また企画展では1950年代以降のガラス・アートを中心に、様々な美術表現を紹介しています。

交通アクセス

[富山駅より] ○徒歩 20 分 ○市内電車南富山駅前行に乗り、「西町（にしちょう）」下車、徒歩 1 分
○市内電車環状線に乗り、「グランドプラザ前」下車、徒歩 2 分（富山駅から「西町」「グランドプラザ前」まで約 10 分）

[富山空港より] ○地鉄バス（富山空港線）「総曲輪（そうがわ）」下車、徒歩 4 分

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町 5 番 1 号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

美術館公式 SNS アカウント



Instagram

アカウント名
toyamaglassartmuseum



Facebook

アカウント名
toyamaglassartmuseum



Youtube

チャンネル名
ToyamaGlassArtMuseum 富山市ガラス美術館

報道関係のお問合せ先

富山市ガラス美術館

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310 E-mail bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp (代表)

広報担当：渡辺、小谷 展覧会担当：中島

広報用画像の貸出しについて

p.3～5、7の画像1～12を広報用に貸出します。ご希望の方は、p.9の画像貸出し申請書の使用条件をご確認の上、メールまたはFaxにて上記の美術館広報担当へ申請書をお送りください。

お問合せ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

年 月 日

(宛先) 富山市ガラス美術館長

担当者： _____

Tel： _____ Fax： _____

E-mail： _____

住所： _____

団体名： _____

富山市ガラス美術館 画像貸出し申請書

次のとおり、掲載用素材として「コレクション展 ^{こうさく}交錯する素材」の画像を申し込みます。

1. 掲載（放映）媒体名： _____

2. 媒体種別：TV 新聞 雑誌 フリーペーパー 電子書籍 WEB サイト 携帯媒体
その他（ _____ ）

3. 掲載の趣旨
別紙のとおり（媒体資料を添付してください）

4. 掲載（放映）日時： _____

5. ご希望の画像番号： _____

- 画像は原則、全図でご使用ください。トリミング、部分使用、縦横比の変更、文字のせはご遠慮ください。
- 画像掲出には別途指定するキャプションを必ず入れてください。
- 展覧会広報のみにご使用ください。他の目的でのご使用は固くお断りいたします。
- 商品のPR等の商業利用に関しては画像の提供は出来ません。
- 画像の2次使用はご遠慮ください。
※画像が使用できる期間は展覧会期間内のみとなります。
※同一記事の再掲載や再放送等については再申請が必要となります。
- 校正ゲラの段階で情報の確認をさせてください。
- 記事が掲載された場合は掲載見本（DVD、掲載紙、掲載誌等）を美術館広報担当へご寄贈ください。

申請書送付先：富山市ガラス美術館 広報担当 E-mail: bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Fax：076-461-3310

お問い合わせ

富山市ガラス美術館 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号

Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310

Email bijutsukan-01@city.toyama.lg.jp Web toyama-glass-art-museum.jp

